

上水内郡
服部宏昭

服部ひろあき
(七十歳)

七十歲

県議六期・明治大學工學部中退
長野縣經濟短大二部卒・一級建築士
北信美術會會員・農業

県議六期二十四年の貴重な経験を生かし、県政の発展のために真剣に取り組みます。

噴火、県北部の地震など自然災害が多く発生し、その災害復旧、復興は早期に対応すべきで、地域

課題であります。

私の政策

- 一、県内経済・雇用対策を強化し、併せて県財政の健全化に取り組みます。
 - 二、北陸新幹線の活用と北しなの線の利便性の向上及び地域交通網整備に全力を注ぎます。
 - 三、県土の強靭化対策を強化するため、社会資本整備を推し進め、防災力を高めます。
 - 四、広く県民の皆様の意見を反映し、情報化を一層促進して議会改革に努めます。
 - 五、現地を回り、砂防・地滑り対策、道路・河川の整備、治山・土地改良を実行します。
 - 六、TPP交渉における米など主要五品目の関税撤廃は断固反対し、農協改革は農協による自主改革を尊重し、日本農業振興に努めます。
 - 七、地域創生を推進するため、企業誘致を図り、地域観光や商工業の活性化及び地場産業の育成に努めます。
 - 八、人口減少対策として、子育て支援や若者定住と少子高齢化対策に力を入れます。
 - 九、環境対策を重視し、地域の文化や教育の充実を図り、豊かな郷土づくりに励みます。
 - 十、農林漁業の振興と基盤強化に努め、過疎中山間地対策に取り組みます。

長野県議会議員一覧表

選舉公報掲載文書・在籍証明書

選舉名

選舉区

候補者氏名

東筑摩郡

清沢 英男

連絡場所

電話

清沢 英男

きよさわ えいお

災害に強い県土をつくり 暮らしがやすい東筑にします

◎ 地方創生事業の具現化と人口対策

仕事の場の確保や子育て支援、地域交通の広域化など、あらゆる政策を駆使して地域社会の活力を維持し人口減少の対策をします。

◎ 地域経済の活性化と基盤整備

地域特性に沿った産地、中山間地の農業や商工業、6次産業を振興し、そのための社会資本や基盤を整備します。

◎ 子育て支援と教育の充実

保育料や医療費の低減を支援し、女性の社会進出を応援するなど子育て世代のケアに取り組み、元気な子ども達の教育や環境を充実させます。

◎ シニア世代の活躍と福祉の向上

人生一毛作、生涯現役のシニア世代が活躍できる社会にし、同時に介護や医療の福祉向上と同居家族の応援をします。

◎ バリアフリー社会の推進

障がいのある人もない人も、ともに均等に暮らせる社会を実現します。

◎ 地域の防災、減災、生活道路や鉄道の整備促進

地域の国、県道、生活道路、歩道の整備や篠ノ井線の利便性向上に取り組み、地震、豪雨など自然災害に強い県土にしていきます。

【プロフィール】

松本深志高校、信州大学卒。衆議院議員秘書、朝日村議會議員、県議会議員3期、県議会の危機管理建設・議会運営・総務企画警察各委員長。

長野県選挙管理委員会

捺印用印

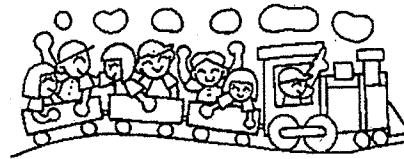
年月日

平成 年月日

(記入しないこと)

南佐久君
依田 明善

南佐久を元気にするために頑張っている皆さんと共に、地方再生の風を起こす！



- 中部横断自動車道早期実現。同時に、南佐久を単なる通過点にさせないための各町村や民間の取り組みを県議として支援。
- 国道141、299、県道下仁田佐久穂線、主要地方道川上佐久線、上野小海線、農道等整備。
- 防災減災対策、河川整備、緊急避難路確保促進。
- 山岳高原観光の推進と小海線の利活用。（高速交通化が進む反面、のんびりとした高原列車の旅なども人気が高まつて来た。阿部知事も「高原列車といえば小海線」と認め、「鉄道模型 小海線」という商品もマニアに人気。しかも標高千m前後は健康にも良いといわれている。
また、山、川、湖、滝、温泉、遺跡、野菜畑、スポーツ施設、歴史遺産、特産物など、まさに南佐久は観光資源が豊富だ。南佐久の背骨である小海線を「信州南佐久」（かながわなんさく）という巨大なテーマパークの要としてどうぞ、周遊バスやタクシーでも気軽に楽しめる山岳高原観光をめざすべきと、県側にも現在提案中）
- 子育て中の女性や定年退職を過ぎた皆さんの中には、空いた時間内で就労を望む方が多い。農家など雇用者側とのマッチング新システムを県としても考え、支援するよう要望していく。
- 農林業の振興・カラマツ等の森林資源の利活用。野生鳥獣被害対策の推進。獣友会等との連携。
- 医療、高齢者福祉、障がい者福祉の充実。
- 少子化対策、空き家対策、宅建業の機能強化。
- 再生可能エネルギーの活用。循環型社会の推進。
- スポーツ・文化振興や教育の充実をめざす。

よ
だ
依田めいぜん

無所属

長野県選舉管理委員会

（捺印は記入しないこと）

石和 大 (50歳)

東御市
石和大

県政を身近に

◎ 少子化対策の充実と人口減少社会への対応

少子化対策は、就労支援をはじめとする生活基盤・社会基盤の整備・結婚支援・子育て支援等複合的な施策が必要です。それを対策しつつ、人口減少社会の中で活力ある地域を構築する必要があります。多くの知恵と市民力の結集を目指します。

◎ 信州教育の再生

幼少期から、直接体験を重ね、信州の自然の中で生きているという実感を持ち、信州に、地域に愛着を持つ子どもの育ちを支えます。そして、何のために学ぶのかを考え、学ぶ喜びを持つ信州教育を再生します。併せて、いじめ撲滅・学力向上について具体的に取り組みます。

◎ 健康長寿の推進

東御市は健康づくりへの取り組みについて、心身へのアプローチを研究し先進的な取り組みがあります。長寿県長野を更に伸ばし、健康長寿を推進するためにも、東御市発という取り組みの充実を図り、全県に広める施策を模索します。

◎ 農業振興と地産地消の推進

東御市には、米・野菜・果樹・畜産等あらゆる農業が盛んに営まれています。これらの農産物の地産地消は、経済・健康等の多面的な好影響を創出します。更に、後継者の育成、6次産業化、ワインバー構想等地域の力を結集し、生き生きとした農村の構築を目指します。

◎ 誰でも出番がある長野県

そこに暮らす人は、誰でも社会にとって必要な人です。そこで生きていることが、社会貢献なのです。他者を思いやり、みんなが暮らしやすい、認め合う社会を目指します。

◎ 自然エネルギー自給率100%のボテンシャルを持つ長野県の可能性

長野県は、水力、太陽光、木質バイオマス、地熱等の発電について潜在能力的には、長野県のエネルギーを自給できると考えられます。そんな利点を生かして、地球にやさしいエネルギー体制の推進をを目指します。

◎ 県議会改革の推進

県議会は、機動性の不足・人口減少への定数の不適応・決算機能の強化による事業評価の充実等の課題を抱えています。改革すべきは速やかにする。議論を重ねよいよ実現する時を迎えていたと感じています。

身近な声を県政に

茅野市・富見町・栗村

今井 あつし

地域創造の原動力。

地域特有の食、景色、風土に加え、人や企業に愛される新たな観光資源を発掘します。官公庁や病院、駅、観光エリア、商業地などの面的公衆無線 LAN の設置、子供や高齢者などみんなが利用できる情報化社会の構築を目指します。

笑顔が輝く地域づくり

元気な高齢者が多い長野県、人と人との結びつきにより安心して暮らせる社会が形づくられています。高齢世代の技術や経験を生かし、地域おこしのために頑張っている人を応援します。みんなで力を合わせて、笑顔が輝く地域づくりをサポートします。

誇りに思える街づくり

ハケ岳周辺は、都市住民のあこがれの地域。圏外からの移住者と地域住民が、心地よい環境の中で地域産業の活性化に向けて取り組めるよう応援します。この地域に住むことを誇りに思える街づくりを提案していきます。

詳しい政策・実績はホームページをご覧ください。<http://www.imaia-tsushi.com/>

2期8年の実績

- ・総務企画警察委員会（委員長）
- ・決算特別委員会（委員長）
- ・危機管理建設委員会（委員長）
- ・農政林務委員会（副委員長）
- ・決算特別委員会（副委員長）
- ・健康福祉委員会（副委員長）
- ・広報委員会（副委員長）ほか

■県議会一般質問

- 上川をはじめとする河川整備について
- 諏訪地域における南海トラフ巨大地震時の対応について
- 豪雪による農業被害への対策について
- 教育現場における発達障害等への対応について
- 諏訪地域における国内最大級メガソーラーの建設について
- 他多数

いま
いまい
あ
今
井
あ
つ
し

長野県選舉管理委員会

立候補申請書類提出書類

茅野市議会議員
小池 久代

あなたの声、
聞いていますか？

時代の激変の中、豊かな価値観が変わっています。
地方に求められるのは、自立可能な個性ある地域づくり
であり、地域の皆さんと共に考え、スピード感をもって実行する力です。
阿部県政が掲げる「誰でもが居場所と出番がある信州」。
皆さんの「こころの声」を伝える役目は、まだ始まったばかりです。

小池ひさなが
54歳

無所属



小池ひさなが
プロフィール

◎略歴

昭和36年1月18日生まれ
諏訪郡富士見町出身
県立岡谷南高等学校卒業
横浜商科大学商学部貿易観光科卒業
中央大学法学部通信科在学中
地元バス会社勤務

◎役歴

富士見町立本郷小学校同窓会会長
東海大学付属第三高等学校PTA副会長
東海大学後援会長野県支部幹事
社団法人茅野青年会議所副理事長

◎公職

富士見町議会議長
長野県議会農政林務委員会副委員長
長野県議会環境商工観光委員会副委員長

◎家族

母・妻(平成25年他界)
長女・長男・次男

4つの安心の実現に向けて

子供たちを安心して育てながら女性が活躍できる社会

- 1 健康で生きがいのある地域づくり
 - 誰もが居場所と役割のある社会
 - 医・看護など包括ケアシステムの充実や検診率の向上
 - 子供達を安心して育てながら女性が活躍できる社会
- 2 産業振興と雇用のある地域づくり
 - 付加価値の高い農業の振興や遊休地の解消
 - モノづくりの技術を生かした産業連携
 - 八ヶ岳や縄文文化など地域資源を生かした観光振興
- 3 安全・安心の地域づくり
 - 地域で支え合い、安心して暮らせる社会
 - 通学路などの社会資本や公共交通の整備
 - 耐震率向上や間伐面積の拡大による治山の拡充
- 4 次世代に夢と希望をつなぐ地域づくり
 - 諏訪圏域・佐久圏域との一層の連携
 - 地域で支え各産業で活躍できる人材教育の拡充
 - 空き屋対策や高速交通、情報ネットワークを利用した人口増

◎教育

県立岡谷南高等学校卒業
横浜商科大学商学部貿易観光科卒業
中央大学法学部通信科在学中

◎経歴

1961年1月18日生まれ
諏訪郡富士見町出身
県立岡谷南高等学校卒業
横浜商科大学商学部貿易観光科卒業
中央大学法学部通信科在学中
地元バス会社勤務

◎政治活動

富士見町立本郷小学校同窓会会長
東海大学付属第三高等学校PTA副会長
東海大学後援会長野県支部幹事
社団法人茅野青年会議所副理事長

◎公職

富士見町議会議長
長野県議会農政林務委員会副委員長
長野県議会環境商工観光委員会副委員長

◎家族

母・妻(平成25年他界)
長女・長男・次男

長野県選挙管理委員会

この順位は記入し直すことはございません

長野県議会議員一般選挙

選挙公報掲載文原稿用紙 (活字用)

選挙区名	駒ヶ根市	選挙区
候補者氏名	佐々木 祥二	
連絡場所	電話	番

豊かで住みよい元気な駒ヶ根市づくり

長野県政への取り組み

山中八策

輝く県政！
豊かで住みよい元気な駒ヶ根市づくり

政策の急務は、何よりも景気対策による、安定した所得の確保、そしてみんなが、駒ヶ根の魅力を自慢できる卓越した街の実現

経済雇用対策

働いて稼ぐ

健康福祉施策

明るく楽しく元気に

危機管理対策

安全安心の暮らし

女性が輝く社会と活性化対策

県民みな家族・女性の地位向上

教育対策

良く学び良く遊ぶ

環境対策

次世代のために

観光対策

綺麗、楽しい、美しい

改革革新

清く正しく

-
- 特色ある駒ヶ根市の地域開発に最大の努力をします。
(雇用の増大こそ最大の福祉)
- 特に産業の振興を図ります。
(出るを制して入るを図る)
- 思いやりと助け合いの駒ヶ根市の実現
(信頼と協力の絆を作り上げたい)
- 民間活力を引き出したい。
(教育・介護・医療・福祉)

無所属 長野県議会議員

さわわしうじ

長野県選挙管理委員会

(捺印は記入しないこと)

受付年月日

平成27年 月 日

長野県議会議員一般選挙

選挙公報掲載文原本用紙 (捺字印)

選挙区名	伊那市	選挙区
候補者氏名	酒井茂	
連絡場所		
電話番号	[REDACTED]	[REDACTED]番

- 経歴・職歴
- 昭和27年 伊那市生まれ 六十二歳
 - 昭和50年 京都大学農学部卒業、伊那市役所就職
 - 平成16年 伊那市助役・上伊那広域連合助役就任
 - 平成19年 伊那市副市長就任
 - 平成26年 長野県県民協働による事業改善座長
- ⑧ 県政の南北格差是正
⑦ 伊那谷をパワーアップ
⑥ 美しい郷土の継承
⑤ 長野県教育の再生
④ 防災力の強化
③ 女性の尊重
② 医療・福祉の充実
① 産業振興・雇用の創出

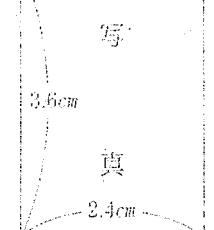
豊かな行政経験と即戦力で
健やかなふるさとづくり

私の
8つの約束

私は伊那市政四十年の豊富な行政経験と
培つた幅広い人脈を得て、
即戦力として働く覚悟です。
皆さまのご期待に応え、愛する郷土伊那谷と
県政をつなぐ懸け橋となるべく
努力することをお約束いたします。

酒井茂
しげる

無所属



長野県選挙管理委員会

お受付年月日	お受付番号	お受付者
平成27年 月 日		

(捺印は記入しないこと)

長野県議会議員一般選挙

選挙公報掲載文原稿用紙 (活字用)

選挙区名	伊那市	選挙区
候補者氏名	白山公人	
連絡場所		番
電話		

長野県議会議員候補
自由民主党公認
むかいやま
きみと
公明党支持

白山公人

伊那谷に太陽を

私の目指すもの

医療と福祉の充実

- ・地域で支える高齢者、身障者の福祉社会の実現
- ・医師、看護師確保による上伊那医療圏の充実
- ・里帰り出産の充実

産業振興と雇用対策

- ・中小企業の受発注への支援

- ・地域資源、地域の特徴を活かした観光客誘致
- ・県南信工科短大を中心とした次代を担う人材育成

豊かな自然と共生する社会の実現

- ・災害対策による安全安心社会への取り組み
- ・循環型社会の実現
- ・地球温暖化対策の推進

均衡ある県土の実現

- ・公共交通による南北地区への時間短縮の取り組み

中南信地域への県庁業務権限の移行

県財政の健全化

- ・生活を中心とする社会資本整備の推進
- ・無駄を削減し事業の適正な見直しによる実施

農業振興の推進

- ・公共交通による南北地区への時間短縮の取り組み
- ・安定した農業所得確保の向上支援
- ・集落富農活動の支援への取り組み

教育の充実

- ・青少年の創造性豊かな人づくり
- ・スポーツ振興と施設の充実

地域、家庭、学校の連携で開かれた教育の充実

伝統文化と芸術振興の推進

- ・地域伝統文化伝承支援の取り組み
- ・音楽、芸術活動の推進

普段着のままの政治活動



長野県選挙管理委員会

投票年月日	受付番号	受付者
平成27年 月 日		

(捺印は記入しないこと)

長野県議会議員一般選挙

選舉公報掲載文原稿用紙 (活用)

選舉区名

小諸市

選舉区

候補者氏名

山岸 喜昭

連絡場所

電話 [REDACTED]

これからが本当の「まち」づくり。私たちの郷土のために!

県との太いパイプ役

小諸市民のため。地元行政と対話しながら、1期4年で培った人脈を活かし、県政との繋がりを更に強固なものとしていきます。

少子化・高齢化対策

若者・女性が安心して暮らせる、①住宅環境 ②就業環境 ③子育て環境の充実を推進し、移住・定住政策にも取り組みます。高齢者の生きがいの場づくり、健康長寿で暮らせる環境を創造いたします。

福祉・医療の充実

医師・看護師・介護士の確保と、地域の医療・福祉・介護施設の充実を進めます。高齢期における適切な医療が確保できるよう後期高齢者医療制度の充実を進めます。

教育環境の充実

子供たちの通学道路の安全確保。県立高校の環境整備を推進いたします。信州教育再生への環境整備を推進いたします。

産業振興・観光活性化

浅間山麓での観光・産業の活性化に向け、広域連携を推進いたします。中小地場産業の育成、商業地の活性化、公共交通網の充実を図ります。高地トレーニング構想を推進いたします。

農林業の育成

小諸農業大学校の環境整備を推進いたします。農業後継者の育成、食育・観光農業・6次産業の創造を推進いたします。県産材の利用促進、里山間伐事業・水源林の環境保全に取り組み、林業と里山を守ります。

「子供達に夢を」「
小諸の明日を」「
長野県の未来を」



元気!
やる気!!
よしあき!!!

山岸 喜昭
やまとわたり
喜昭

略歴 / 小諸市観光協会会長・小諸ロータリー
現職 / NPO法人浅間山麓国際自然学校副代表
表理事・浅間連峰地区遭難対策協議会
小諸支部救援隊長

長野県選挙管理委員会

※受付年月日 / 受付番号 / 受付者

平成23年 月 日

(※印は記入しないこと)

上田市 小県郡
清水 紙子

地方創生のモデル地域に

- ◆ 青木峠新トンネルの早期実現
- ◆ 国道144号線湯の平橋付近の急カーブの早期解消
- ◆ 地域経済を元気に!!

女性の活躍をさらに前へ

- ◆ 切れ目のない妊娠・子育て支援を行う「産前産後ケア」の充実
- ◆ 女性の再就職時に、就職相談から企業紹介を行うハローワーク機能を備えた専用窓口の拡充

大切な未来の宝を育む

- ◆ 子どもに寄りそなスクールソーシャルワーカーの拡充
- ◆ 若者の就職応援システムの構築
- ◆ 発達障がい者の自立と社会進出を支援する相談窓口の拡充

安心、充実の
医療・介護・福祉を

- ◆ 医師数のさらなる拡充。がん治療・急性期医療・周産期医療などの医療体制の充実
- ◆ 医療・介護が一括して受けられる「地域包括ケアシステム」の構築へ、老後も安心してふるさとで暮らせる体制の確保
- ◆ 認知症対策の強化のために、早期発見、早期治療で認知予防を行う「初期集中支援チーム」の設置

10年先、20年先を見つめて
ずっと住みたい街
夢や希望がもてる地域へ

公明党公認

清水じゅんこ

● 1965年生まれ 小県郡青木村在住
● 聖徳栄養短期大学卒業
● 尊敬する女性：ワンガリ・マータイ
● 好きな言葉：知恵は現場にあり

(50歳)

長野県議会議員一般選挙

選挙公報掲載文原稿用紙

(活字用)

選挙区名	飯山市・下水内郡	選挙区
候補者氏名	宮本衡司	
連絡場所	電話番	

ねが 地域の希いを県政に! 見つめているのは、未来です。

「銀座ZAGANO」をはじめ県の
情報発信施設をフルに活用し、地
域の情報を切れ目なく全国へ発信
する」とにより、
移住・定住・二地域居住
の推進を図る

年間を通じて積極的に飯水地域の
知名度アップに努め、
観光振興を図る

雪国文化の継承と全国への
防災・減災システムの構築

雪に関する研究の推進
スノーアイベントの誘致

全国規模の
経済の活性化

地場産業の連携を図り、地域なら
ではの特色ある
6次産業の構築を目指す

農業と福祉の連携、伝統工芸の技
等地域資源を活かした
**飯水地域の
未来にむけむ**

雪と共に生せざるを得ない自然環境の厳しい飯
水地域は、少子高齢化が進み人口減少による農
商・工はじめあらゆる産業が停滞しています。
とりわけ、集落機能の維持と活性化は大きな
地域の課題であり、全てがここに結びついでい
くと考えています。

氏
みや
もと
**こうじ
宮本**

写
真
3.6cm
2.4cm

長野県選挙管理委員会

※受付年月日	※受付番号	※受付者
平成27年月日		

(※印は記入しないこと)

上田市・小県郡
平野成基

ひのきの成基

自民党公認

しげもと

地方創生… 国にとつても地方にとつても
これが合意言葉です。北陸新幹線の延伸、真田
丸のNHK大河ドラマの放映、上田地域活性化
のチャンスです。

努力したものが報われる社会を！

- 少子高齢化社会に対応して安心できる福祉・医療体制の充実をはかります。
- 中小企業対策を着実に進め、農業・商工業・観光業の活性化をはかり県民生活の安定をはかります。
- 行財政改革と地方分権を推進し、県民サービスの向上をはかります。
- 心豊かな教育と文化の振興をはかり、郷土を愛する人材づくりを進めます。
- 恵まれた豊かな自然を守るため、人と地球にやさしい環境循環型社会をめざします。

『少子高齢化』『限界集落』『消滅自治体』…間違
いなく人口減少社会に突入したことを皆が実感し始め
ました。

今こそ、政治がしっかりと目標を立て、行政はもちろん民間の知恵と力を結集して行かなければ乗り越えられない危機が、すぐそこにやってきたのです。

「地方創生」は、地方が発想し、国が認めたものだけに予算がつく、との流れになります。

新しい時代の流れをしつかり自覚して、この地域のそして長野県の未来のために頑張る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

《平野成基ホームページより抜粋》

プロフィール

昭和25年上田市生まれ。上田高校・東大卒。
長野県議会議員として5期目。
総務警察委員長、議会運営委員長・議長などを歴任。

堀場秀孝 プロフィール

- 昭和30年(1955年)6月26日生まれ
出身地／上田市上田原
現住所／上田市中丸子
●昭和46年／上田市立第四中学校卒業
　　中学校軟式野球県大会優勝
●昭和49年／丸子実業高等学校 普通科 卒業
　　春1回、夏2回甲子園大会へ
　　正捕手として出場
●昭和54年／慶應義塾大学法学部法律学科卒業
●昭和54年／プリンスホテル入社
●昭和57年／プロ野球 広島東洋カープ入団
●昭和61年／横浜大洋ホエールズへ移籍
●平成 2年／読売巨人軍移籍
●平成 3年／ベースボールマガジン社入社
●平成 8年／大阪近鉄バッファローズ編成部
●平成23年／長野県議会議員初当選
●平成26年／長野県ティーボール連盟理事長

地域のために 一球入魂！

- 住みやすい地域づくり
- 地域の声を県政へ届けます
- 幼児から高齢者まで
- スポーツを通じた健康づくり
- 働きたい人が働ける地域づくり
- 医療(救急・産科等)、福祉の充実
- 地域高等教育の充実
- 国道152号丸子バイパスの実現
- 国道254号
- ミニバイパスの早期実現
- 国道143号青木トンネルの整備

私は、勤労者・生活者・弱者の
視点に立った政治姿勢を貫きます。

堀場
ほり
ひでたか
ば

上田市 小県郡
高村京子

オール与党で 冷たい県政から くらしだと平和を守る県政へ

憲法9条を守りぬき
「戦争立法」を許さない声を発信します
政治の流れを変えるチャンスです
日本共産党を伸ばしてください

日本共産党

高村京子

私は、「戦争立法」や消費税増税など暴走する安倍政権と対決し、県民の声が通る県議会となるように、全力でがんばります。

「負担だけ増え、くらしが大変」「戦争する国は絶対ダメ」など、県民の切実な思いに応える県政が求められています。

私の重点公約

- ◇ 子どもと障がい者の医療費の窓口無料化
- ◇ 県が支援し、国保税・介護保険料の引き下げ
- ◇ 三才山・新和田・平井寺トランネルの早期無料化
- ◇ 上小の地域医療再構築をさらに推進
- ◇ 原発ゼロ・自然エネルギー先進県へ
- ◇ T P P反対、米価暴落対策、住宅リフォーム助成制度で地域経済を応援
- ◇ 被災地支援の継続、減災・防災対策の強化

<略歴>長野日赤・旧東信病院勤務などを経て、東信医療生協設立に参加。看護部長を歴任、文教企業委員長歴任。
ケアマネージャー取得、現常務理事。2002年県議補選で初当選、文教企業委員長。現在、文教企業委員、議会運営委員、党県議団幹事長。上田市新田。

◇ ホームページ、フェイスブックもご覧ください。[高村京子](#) クリック